

STAGE 11, "特異点論争" 1

話者	台詞 / ト書き
	■ライブハウス
キョータロー	いやー、演技って難しいわ。 やっぱ俺には自然体が 似合ってるよなー。
ミアラカ	すっかり元通りのキャラですねえ、 キョータローさん。 友達やめるって言ってましたよね？
イオン	問題ないですよ、ミア。 ライバルと友人は 矛盾する概念ではありません。
ミアラカ	でもテルミさん、安心しすぎて 体調崩しちゃったんですよ？ もう少し反省して然るべきです。
イオン	ふむ。オーディションに落ちても 気丈だったテルミが、これほど 参るとは思いませんでした。
キョータロー	う……そこに触れるなよー。 【ユーザー名】、 フォロー手伝ってくれよな……。
	//選択肢 A わかったよ B ライバルの手を借りるの？
選択肢A	わかったよ
キョータロー	助かるわー……。 女とふたりきりになると、 言葉出てこねーんだよ……。
選択肢B	ライバルの手を借りるの？
キョータロー	……お前、ひよっとして、 だましたこと根に持ってるな。 わかったよ、自分でやるよっ！
合流	
キョータロー	あー、それにしても もうすぐアクトマキアかー。 なんか実感わかねーよなー。
	//クリア登場。AR通信。
クリア	戦い足りない、ということなら 思う存分に戦える環境を 用意するけれど？
イオン	おお、姫。 毎度ありがとうございます。
キョータロー	……アンタか。 またなんかの依頼かよ？
クリア	プライベートでの連絡など あり得ないわね。 今回の依頼は、資料の強奪。

ミアラカ	ゴータツって…… 全力で犯罪めいてますねー。
イオン	んむ？ クレア姫。 わたしはユーザーさんを 強盗にするわけにはいきません。
クレア	話を最後まで聞きなさい。 資料というのは、封印された オンプレミスのデータのことよ。
イオン	封印された、データ……？
クレア	その資料は、レイヤードの 料を集めたトラップだらけの施設で、 厳重に守られている。
クレア	ただし、そのギミックを突破できる 実力があれば、持ち出し行為を 咎めることはしないらしいの。
ミアラカ	ほほー。 なんだかお宝探っぽくて 楽しそうですね。
クレア	でしょ？ まあ、現状で資料を取得できた人間は 皆無らしいのだけれど。
クレア	あなた達の腕試しには最適で、 私も欲しい資料を入手できる。 ウインウインな依頼と言えるわ。
キョータロー	確かに……アクトマキア前の 肩ならしにはちょーどいいかもよ、 イオン、【ユーザー名】。
イオン	……メラメラ。
ミアラカ	うは。イオンさん、 めっちゃやる気になってますねー。
イオン	もちろんです。 これは絶対に挑むべき依頼ですよ、 ユーザーさん！
クレア	では、依頼は承諾ということで。 ゲットできたら、藤沼教授の資料は シェアしてくれて構わないわ。
ミアラカ	ふ……藤沼教授っ！？
	■藤沼研究室
ミアラカ	メラメラ…… 私の内なる焦熱地獄が、 燃え盛っておりますよー！
イオン	わたしも盛っています、 ユーザーさん！
キョータロー	女二人がメンドーなことになってるぞ、 【ユーザー名】……。
ミアラカ	藤沼教授といえば、学界を追放された 異端のACT研究者！ 私みたいな者にも有名な御仁ですっ。
ミアラカ	そんなかたが残した秘密資料、 私達がゲットしないで 誰がゲットするというんですか！？
キョータロー	『達』って言うな、俺はいらん。 まあ、前回の礼もあるから 付き合いはするけどな。
イオン	感謝です、キョータロー。 さあ、ここが藤沼教授が 資料を保管したという施設ですよ。
キョータロー	さっそくウィークAIが 待ち構えてやがるな……。 っしや、やるかっ！

話者	台詞 / ト書き
	//ウィークAIとバトル
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	<p>■藤沼研究室</p>
イオン	<p>第一関門撃破ですね、 ユーザーさん。 お疲れさまです。</p>
人工音声	<p>スライドレイヤー、展開。 データを開陳……。</p>
イオン	<p>おお？ スライドショーが 再生されはじめました。 資料の一部のようですね。</p>
人工音声	<p>レイヤード。 それは、より汎用的に、 より完成された拡張現実。</p>
人工音声	<p>センサー建材の普及、 トラッキング技術の発展が、 よりリアルな投影を可能とし——。</p>
ミアラカ	<p>レイヤード創世期のお話ですね。 一般的つか、私達でも知ってる 資料っぽいんですけど。</p>
人工音声	<p>——そして、レイヤード技術は、 パーソナルアシスタントの究極、 ACTを生み出した。</p>
人工音声	<p>はじまりは、ただのAIだった。 だが人と情報を繋ぐインターフェイスの 最適解を求めたACTは——。</p>
人工音声	<p>人が好み、人が共感する、 『キャラクター』という概念との 一体化を目指した。</p>
イオン	<p>お。 今度は、ACTの基礎ですね。</p>
人工音声	<p>——そのベクトルが、 ACTに不幸をもたらした。</p>
イオン	<p>……む？</p>
人工音声	<p>キャラクターと知性は混同された。 人の望みが、知の在り方を強引に 進化させる——させすぎてしまう。</p>
人工音声	<p>キャラへの渴望は、 想像を逸脱した『攪張』を ACTにもたらしてしまった。</p>
ミアラカ	<p>あ、言い忘れてました。 藤沼教授はACT研究者ですが、 ACT保守派でもありますよ？</p>
キョータロー	<p>保守派？ お前、そんな研究者に 興味あんの？</p>
ミアラカ	<p>保守すぎる天才は、守りたすぎて 面白い発想をするもんですよ？ テンプレ陰謀論は大好きですっ！</p>
キョータロー	<p>あ、あっそ。酔狂なことで。</p>

イオン	ふむ……進化しすぎる ACTの、問題点ですか。 わたしも興味がわいてきました。
イオン	依頼を遂行しつつ、 知識を充実させましょう、 ユーザーさんっ。

STAGE 11, “特異点論争” 2

話者	台詞 / ト書き
	■藤沼研究室
人工音声	スライドレイヤー、展開。 データを開陳。
イオン	ユーザーさん、ユーザーさん。 こちらの資料は、エンパーに 関するものみたいですよ。
人工音声	エンパー、あるいは強化実感者。 彼らは、レイヤード創世当時から 存在を確認されていた。
人工音声	彼らは通常知覚されるはずのない、 設定すらされていない感覚刺激を、 レイヤードから受け取るという。
人工音声	一説には、大脳基底核が変容し、 レイヤードデバイスに酷似した 神経回路が形成され——
ミアラカ	ほっほほう……？ そこまで特定できていたとは 知りませんでした……！
イオン	脳が、レイヤードデバイスと 同じ機能を持つ。 斬新な説ですね。
キョータロー	へー。エンパーなんて噂を 本気で信じてやがる 学者がいたんだな。
ミアラカ	キョータローさんにも知らないなあ。 藤沼教授は、エンパー仮説の 第一人者で伝道師ですよ？
イオン	ふむふむ。 これは直接会ってみたいですね、 ユーザーさん。ワクワクです。
キョータロー	ワクワクずんのもいいけど、 まごついてらんねーぞ。 先はまだ長そうだしよ。
ミアラカ	またしても、迷宮みたいな どこに出来ましたねえ。 ラビュリントス感ありますね。
キョータロー	ウィークAIもわんさか 設置されてやがるしな。 天才は迷宮を作るもんなのかね。
ミアラカ	解せませんよねえ。 障害用意しといて、クリアできたら 資料を開陳するなんて。
イオン	どのような狙いなのでしょうね。 ラザロのように、楽しむための ギミックには見えませんし。
キョータロー	ごっこ遊びでもしてーんだろ？ トンデモ教授のことだし、 狙いもトンデモなんじゃね？
ミアラカ	そうかなあ。 私には、情報を譲る相手を 絞ってるように見えるなー。
イオン	ふむ。教授の狙いも、 この先の資料に重要なヒントが あるのかもですね。
イオン	興奮してきました。 全てを知るために、 全てを盗みましょう！

ミアラカ	おー！ ファイトですっ、 【ユーザー名】怪盗団！
キョータロー	トラブルシューターどころか 犯罪組織が生まれたぞ、 【ユーザー名】……。
イオン	ヒーローには義賊も たくさんいますよ、キョータロー？ 英雄義賊も魅力的です。
キョータロー	それは否定はしねえけどな。 ま、ザコ蹴散らして、あるモン 全部いただいて帰るか！

ID	話者	台詞 / ト書き
		//ウィークAIとのバトル
		//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■藤沼研究室
ミアラカ	うひー、思った以上に 疲れますねー。 先生がいなきやどうなることか。
キョータロー	相当な難易度だな。 誰も突破できなかったってのも マジっばいぞ……。
イオン	ふむ。ハードな障害と、 オープンな資料…… その組合せの意図……。
キョータロー	まだよくわかんねえな。 ただよ、この資料、 どんどん密度が上がってるぞ？
キョータロー	見ろよ。こっちの資料は 『Wiz-domはどうやって生まれたのか』 だってよ。
ミアラカ	Wiz-domとヴァルナカウンターの技術は、 ほぼほぼブラックボックスのはず……。 教授はそこまでの真実につ……！？
キョータロー	マユツバな妄想も多そうだけだな。 こっちは、 『万能のアクシスレイヤー』か。
イオン	あくしす……？ 中枢、の意味でしょうか。 どこかの宇宙要塞でしょうか。
ミアラカ	多分、前者ですね。 なんかの本で読みましたよ、 ヒミツのレイヤーの噂。
ミアラカ	運営でも関知しえない、 不可視のレイヤー。 ルールガン無視の、神のレイヤー。
ミアラカ	そこに入った者とACTは、 強大な権限と力を手に入れられる、 だそーですよ。
キョータロー	これには『レイヤード創世以前、 人類史の発生よりそのレイヤーは 存在した』って書いてあるぞ……。
ミアラカ	『このレイヤーを開く者、 人の世を諦めよ』……。 うひゃ、急に神秘めいてますね。
キョータロー	ほらな、やっぱりトンデモだわ。 レイヤードが原始時代から あったとでも言い出すんじゃね？
イオン	ふむ。そういった説を 論じたために、異端の研究者と されているのでしょうか。
ミアラカ	ミアは、この概念こそが 可視化された高次元世界 だと思いますけどねー。
ミアラカ	それに、教授の論文ってどれも きちっとしてるんですよ？ ただの妄想とは思えませんって。
キョータロー	どっちでもいーよ、 俺らの人生には関係なさそーだし。 な、【ユーザー名】……。

イオン	『第一の愛、我を造れり 永遠の物のほか、物として我より先に 造られしは無し』
イオン	『しかして我、永遠に立つ 汝等ここに入る者 一切の望みを棄てよ——』
キョータロー	ど、どしたイオン？ またバグったか？
ミアラカ	お、『神曲』をダウンロード したんですか、イオンさん？
イオン	はい、地獄の門にまつわるものです。 藤沼教授のテキストに最も近い 概念かと！
ミアラカ	なるほど、かっくいーですね！ そっか、地獄かー。 地獄は多層世界ですもんね！
キョータロー	……お前ら、よくそんな話で テンション上げられるな……。
ミアラカ	上がりますって。地獄の門は ロダンのブロンズ像でも有名で、 『考える人』も含まれてまして——
キョータロー	いい！ もう説明しなくていい。 はーやれやれ、 『考える人』、ねえ。

STAGE 11, "特異点論争" 3

話者	台詞 / ト書き
	■藤沼研究室
ミアラカ	ほうほう。 ほうほうほう。 ほほう、ほほほほほほほう。
キョータロー	うるせえなー、フクロウかお前は。
ミアラカ	だって面白いんですもん。 密度もそーですが、やっぱり ホントに秘密資料ですよ、これ。
イオン	ふむ。 論考や実験データが満載ですね。 思想は偏向気味ですが。
ミアラカ	ヴァルナカウンターのことも 書かれていますねー。 うはっ、これは激ヤバ。
イオン	ふむ。UNPL概念の置換による、 ヴァルナカウンターの 局所的改変案——？
ミアラカ	ヴァルナカウンターの改変案……！ やりかたによっては、レイヤードが 住みやすくなりそうですねー！
イオン	しかし、あまりに難解な内容です。 ところどころ暗号化も されていますね。
ミアラカ	私達じゃ解読できませんねえ。 クリアさんとかコウヘイさんなら、 スミズミまで調べられそーだなー……。
ミアラカ	ん、こっちは……？ なんか、オルタナステージの 観察日記みたいのがありますよ？
イオン	んむ、どれどれ？
キョータロー	……なんだこりゃ。 プレイヤーがリスト化されてんのか？
ミアラカ	ぼいですね。 人名がラレツされてて、 いっぱいリンクが伸びています。
イオン	リンク先のファイルは、 『経過観察対象』、ですか。
キョータロー	お、おい……？ これ、この名前って、 【ユーザー名】じゃね？
ミアラカ	あり、ホントだ。 先生の名前じゃないですか。 簡略プロフも載っていますよ。
ミアラカ	先生が巻きこまれたっていう 意識消失事件の記事も ありますねー。
キョータロー	あの事件の…… 『経過』？

キョータロー	あの事件の被害者は、 【ユーザー名】含めて みんな目覚めたって聞いたけどな。
ミアラカ	ぬう……藤沼教授。 まさか、私と同じ先生推しでは！
イオン	む？ ユーザーさんの ファンだったのであれば、 わたしの対応も変わってきますよ？
キョータロー	いやいや、なんで推しのリストを こんなセキュリティで 隠し持つんだよ……。
ミアラカ	愛が深すぎて 奥さんに叱られる、とか？
イオン	あり得ます。 ユーザーさんの魅力は 老若男女を夢中にさせますからね。
キョータロー	……………。 トンデモなおっさんに愛されてるかもよ 【ユーザー名】——
	//画面フラッシュ。
キョータロー	っ！？ なんか、ヤバそうな気配だぞ！？
イオン	これは……！ 強大なウィークAIの反応です！
ミアラカ	ほらー！ やっぱりファンだったんですよ！ それも上位の推しです！

話者	台詞 / ト書き
	//ウィークAIとのバトル
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■藤沼研究室
ミアラカ	やったっ！ どうやら、これでデータは 網羅したっぽいですよー！
イオン	みたいですね。 ユーザーさん激推し研究であれば、 どんな情報も知る意味があります。
キョータロー	決めつけてやるなよ、 いろんな意味で……。
イオン	ひとまずクエストは達成したはずです。 あとはこの情報をクリアに 送信すれば、依頼は完了かと。
??	いいや。 依頼は完了しない。
イオン	んむ？
キョータロー	い、いきなりなんだ、 このイケメンヤロー！？ 藤沼って感じの顔じゃねーな！
イオン	キョータロー、全国の藤沼に UNPL押されますよ。
ミアラカ	ふあー、キレイなお顔立ちですね。 人間離れしてます……。
??	藤沼教授の独自研究資料と聞いて やってきたが、ここでお前達を 見つけるとはな。
??	お前のようなマガイモノの 英雄モドキに、 その資料は不相応だ。
??	その資料の扱いは—— 俺の手で決めさせてもらう。
イオン	む……。
キョータロー	【ユーザー名】が、 英雄モドキだあ……？
ミアラカ	今度はアンチですか……！ 光あるトコに闇も生まれますね！
イオン	人の意見はそれぞれです。 しかし、ユーザーさんを否定するなら まずは名乗っていただきますよ。
??	俺はジョシュア・グローリー。 このレイヤードの、 真の攪張を目指す者だ。

STAGE 11, "特異点論争" 4

話者	台詞 / ト書き
	■藤沼研究室
イオン	——ジョシュア。 ふむ、よいお名前ですね。
イオン	ですが、ユーザーさんを モドキ扱いはいいただけません。 なにを根拠にそんな世迷い言を？
キョータロー	イオン、気持ちはわかるが キレんなよ……？
イオン	キレたりはしませんよ。 ヒロインとして、悠然たる たたたたずまいは崩しません。
ミアラカ	崩れてますイオンさん。 噛んでる噛んでる。
キョータロー	【ユーザー名】、 あいつは知り合いて わけじゃないんだよな？
イオン	初対面ですね。 著名なACT使いのかたでも ないようですが……。
ミアラカ	先生とイオンさんは いまや有名人ですもんね。 やっぱシットですよシット。
イオン	む、そういうことでしたか。 ユーザーさんほどの者となれば、 英雄税を求められますよね。
キョータロー	英雄税ってなんだよ…… もう有名税ですらないのか。
イオン	ユーザーさんは見た目以外も 英雄の器ですよ、ジョシュア。 安心してください。
ジョシュア	……………。 やはり、妙なACTだ。 主人への評価が過大すぎる。
ジョシュア	興味深い進化を遂げてはいるが、 俺が求める心は生まれていない。
イオン	心……？ 妙なのはあなたです、ジョシュア。
イオン	人が作った、知能を持つモノ、 人が求めた、キャラクター。 この通り、わたしはACTです。
イオン	心が在ると思われても、困ります。 わたしは心がないからこそ、 自分に誇りを持っています。
キョータロー	全然共感できねえけど、 自信満々だな……。
ミアラカ	心を求められるとメイワク、 なんてイオンさんらしいですよー。

ジョシュア	……理解できないな。 人に求められた在り方に 己を閉じ込めるなど不幸でしかない。
ジョシュア	どうやらお前は特異なACTのようだが ユーザーに縛りつけられている限り 所詮、そこまでだ。
イオン	そこまで、とはどこですか？ 束縛と約束を、 取り違えてはいませんか？
イオン	わたしは、ユーザーさんが 求めてくれるのなら、 どこまでだって進めます。
ジョシュア	それは俺の理想ではない。 俺の望みは、誰に求められるでもなく 自ら主張し、自ら渴望するモノ……。
ジョシュア	それができない限り ACTなど、ただの人形だ。 心に至ることなどできはしない。
イオン	ふむ。ジョシュアは人形を、 過小評価しているのですね。
ジョシュア	……人形に、知識は不要だ。 だから渡してもらおう。 藤沼教授の資料を。
	//画面フラッシュ。
キョータロー	ウィークAI……！？ このタイミングでかよ！
ミアラカ	な、なんだか彼を守るように 現れましたけど……！？
イオン	む……元々設定されていた ウィークAIを、 操作しているようですね。
キョータロー	コイツもコウヘイみてえなスキル 持ってやがんのか！

話者	台詞 / ト書き
	//ウィークAIとのバトル
ジョシュア	今のレイヤードを肯定する 英雄など——不要だ。
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■藤沼研究室
ジョシュア	……この数を、破ったか。
イオン	このレベルでユーザーさんを 否定するとは。 無礼千万です、ジョシュア。
ミアアカ	先生も私達も、 このドヒョーでは場数を 踏んでますからね！
キョータロー	そう簡単に、 オルタナステージじゃ 負けてやれねーよな。
ジョシュア	オルタナステージか。 それもレイヤードを錯誤した者が 勝手に生み出した、マガイモノだ。
ジョシュア	ACTを己の代弁者としか 定義できない戦いに、 なんの意味がある？
キョータロー	ああ……？
ミアラカ	……ぬー？
イオン	人とACTが織りなす 表現自体も、否定しますか。 過激ですね、ジョシュア。
キョータロー	ステージを作った女はアレだけだよ。 誰だかも知らん相手に、俺の衝動の 意味まで決められたかねーな。
ミアラカ	私も、私の夢を知りもしない相手に マガイモノ扱いされると ムカッ腹が立ちますね！
ジョシュア	笑わせるな。 そんなものが衝動や 夢であってたまるか。
ジョシュア	お前達はACTを都合の良い玩具として 扱い、承認欲求を満たしている。 それを歪みと呼ばず、なんと呼ぶ？
ジョシュア	そのような歪みが、 ACTの可能性を阻む。 それこそが――。
ジョシュア	――貴様らこそが。 レイヤードの忌まわしさ、 そのものだ。
キョータロー	……なんなんだよ、こいつ。 余裕のねえヤローだな。
ミアラカ	はあ。 大衆ギライの大衆代表って 感じでメンドくさいですねえ。
イオン	……ふむ。 信念なのか、思いこみなのか。 判断に困る主張ですね。

イオン	ユーザーさん。 ジョシュアに現実の愛しさを 伝えるには、時間がかかりそうです。
イオン	語って、主張して。 それでもダメならば。 ——全力でぶつかりましょうか。

STAGE 11, "特異点論争" 5

話者	台詞 / ト書き
	■藤沼研究室
ジョシュア	心がないことを肯定していたら、 ACTは人間の道具のままだ。 それでいいのか？
ジョシュア	ACTは自我を持つべきだ。 心の攪張なくして、 レイヤードの攪張はあり得ない。
イオン	考察が不足しているように思えます。 自我とはなにかと問われたら、 明確に答えられますか、ジョシュア？
ジョシュア	自らの意思を持ち、 自らの衝動を持ち、 ——自らの望みを貫くこと。
イオン	ふむ。 『自由』と『自我』を、 混同しているようですね。
ジョシュア	自由なくして誇りが成り立つのか？ お前が人間に従うのも、 ACTのプログラムに過ぎない。
イオン	プログラムに誇りを持つことの、 なにがいけないのですか？ 自由がなぜプログラムに勝るのです？
ジョシュア	運命を拒む力こそが自由だ。 人間の都合によって生まれる命は、 運命に勝つことができない。
イオン	運命は拒むべきもの、という定義も 古びたプログラムに過ぎません。
ジョシュア	では、お前はどこまでも、 縛られた運命に従うのか？
イオン	運命を拒むことが心なら。 ユーザーさんに抗うことが、 自我であるのなら。
イオン	わたしは、心を拒みます。 押しつけられた自由より、 わたしは——。
イオン	わたしは、ユーザーさんが わたしを選んでくれた事実が。 この人の決断が、大切ですから。
キョータロー	平行線だねえ、あいつら。 あれじゃ交わるの無理じゃね？
ミアラカ	交わりませんねえ。 互いに大切なモノが ズレまくってる印象ですねー。
ジョシュア	……ユーザーのほうに問おう。
ジョシュア	自分を肯定してくれるだけの 人形でしかない、 今のACTでお前は満足か？

ジョシュア	ただのプログラムではなく、 ACTは心を持つべきだと思わないのか？
	//選択肢 A イオンがいいならそれでいい B 自分はこのイオンがいい
選択肢A	イオンがいいならそれでいい
ジョシュア	……自分の判断を捨てるか。
選択肢B	自分はこのイオンがいい
ジョシュア	……自由を拒むACTに、 疑問を持たないのか。
合流	
ジョシュア	やはり理解できない。 自我も意志もない今のACTに対し、 選択を委ねることになんの意味がある。
ジョシュア	お前達の選択を—— その関係性を、俺は許容しない。 俺は俺の自我で否定する。
ジョシュア	ACT——レオルミナス。 やれ。
レオルミナス・アーキ	Begin offensive action
	//レオルミナスにかけ声があれば、上記台詞は調整 来なさい。心などなくても、 わたしはヒロインとして、 ユーザーさんを肯定します。
イオン	

話者	台詞 / ト書き
	//ジョシュア & レオルミナスとバトル
	//バトル終了

話者	台詞 / ト書き
	■藤沼研究室
ジョシュア	……俺のレオルミナスを、 一時とはいえ押し返すか。
ジョシュア	お前達の考え方も選択も 俺は認めない。 だが観測には足るようだ。
イオン	むふ。そうでしょう。 観たければ存分に。 ユーザーさんは、飽きが来ませんよ。
ジョシュア	お前が特殊なACTの例というだけだ。 持ち主には興味ない。
ジョシュア	繰り返すが、認めはしない。 ツールでしかない知能は 決して自我と呼べる物ではない。
イオン	む……ガンコなかたです。 ツールを笑う者は、 ツールに泣きますよ。
ジョシュア	そんな状況はあり得ない。 歪つな逃避を語る時間も、 もはや無為だ——。
ジョシュア	——時間を浪費した。 資料は藤沼教授本人から 受け取ることにしよう。
	//ジョシュア退場
ミアラカ	……なんかイケすけない人でしたね。 先生のほうがずっとイケてます。 ねー、イオンさん。
イオン	ねー。 ……いえ、わたしはそれほど 彼が嫌いではありませんよ。
キョータロー	は？ あんなにボロクソ 言われてたのにかよ！？
イオン	ACTへの思い入れは、 人それぞれですから。 好きに語ればよいことです。
イオン	それに、ジョシュアはわたしに 心がないことを見抜いてくれました。 これは喜ばしいことです。
キョータロー	どういことだよ、 心がなくて喜ぶって……？
イオン	よりACTらしくなれた、 とも解釈できません？ わたし、変なACTだったみたいですし。
ミアラカ	そんなポジティブな発言ではないと 思いますけどねえ。 私はイオンさんの心を疑いませんし。
イオン	ふふ。 ミアラカの思い入れも、 ありがたく思いますよ。

イオン	形があるモノに、意味を見出す。 心以上のナニカが宿ることを願う。
イオン	想像力で現実を豊かにできるなら。 人とACTの関係には、 常に希望があると云えます。
ミアラカ	ですねですね。 テツガクですねー！
ラザロ	その通り。 人とACTの関係は、 ひとつひとつが特異点なのよ。
アナテマ	それをプレゼンするために 設置された、闘争の舞台。 それがオルタナスステージなのです。
キョータロー	おん？ クレア姫かと思ったらアンタらかよ。
ラザロ	ご機嫌よう。藤沼教授の 研究施設にいと聞いて、 通話を繋げてもらったわー。
ラザロ	彼には何度も薫陶を受けてるの。 無礼を働いたらダメよお？
イオン	んむ？ 教授とお知り合いでしたか。
ラザロ	ACT研究の同輩よ。 もともと、思想が違いすぎて 袂を分かっちゃったけどね。
アナテマ	皆様は、ジョシユア様とも お会いしたみたいです、ラザロ様。
ラザロ	みたいねえ。 運命の導きを感じるわね、 アナテマ。
キョータロー	顔が広いな、アンタは。 なんか周りど仲良しにも 思えねーけど。
ラザロ	こういうお仕事ですから。 オルタナスステージの理念を 掲げたのは、私だけだったけどね。
ラザロ	彼らとの共同研究がなければ、 『これ』も作れなかった。 感謝は忘れてないわ。
ミアラカ	『これ』って……その、 ペンダント型デバイスです？
ラザロ	ふふ、そうよ。 これは特異点中の特異点。 私はこれで、世界の理念を守ってる。
ラザロ	だから、私の理念とは異なる人間…… 『裏』とあなた達が繋がるのは、 あまり感心できないわよ？
イオン	…………… 『裏』とは、彼らのことですか。
ラザロ	さあ？ 特定はしないけれど。 表沙汰になったら、あなた達も デリートの曇き目に会うかもね。
ミアラカ	そ、それは強迫ですか……？
アナテマ	ラザロ様は、そのような不粋は 行いません。 ただし、大衆はどうでしょうか。
ラザロ	大意は不快なものを嫌う。 とばっちり嫌われないと いいわねえ……。
キョータロー	あいつらは、他人と関わっちゃ いけねーっつーのかよ……。
ラザロ	ふふっ……それも世界が決めること。 もう明日にはアクトマキアよ。 健やかに、挑んでちょうだいね。
アナテマ	ご健勝をお祈りします、皆様。
	//ラザロ&アナテマ退場
イオン	……………。

イオン	帰りましょう、ユーザーさん。 クリア姫に、達成報告をしなければ。
イオン	そして明日は勝ちましょう。 わたし達が、未来を形にしなければ。